

【九州広域復興支援ファンド】 バンブーエナジー株式会社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構が、九州地方の地域金融機関等と共同で設立した「九州広域復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、本日、バンブーエナジー株式会社(以下、「バンブーエナジー」という。)に対し投資実行しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、本ファンドの第3号案件になります。

熊本県玉名郡南関町に拠点を置く、バンブーグループの一社であるバンブーエナジーは、日本で初となる、竹を利用したバイオマス発電事業者です。竹は燃焼する際に発生するクリンカ(灰)が炉を傷つけることから、これまでバイオマス発電に利用されていませんでした。バンブーエナジーは、竹とバーク(樹皮)を混焼させてクリンカの発生を抑えることで、竹を燃料としたバイオマス発電を可能にしました。

バンブーエナジーは、同グループ企業である、バンブーフロンティア株式会社(竹の伐採と収集及びバークの収集並びに竹・バークの一次加工)と、バンブーマテリアル株式会社(竹・バークの建築素材加工)に対して、電気と熱を供給します。また、バンブーエナジーの発電事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の実証事業にもなっており、地域における自立型バイオマス発電システムの構築が期待されています。

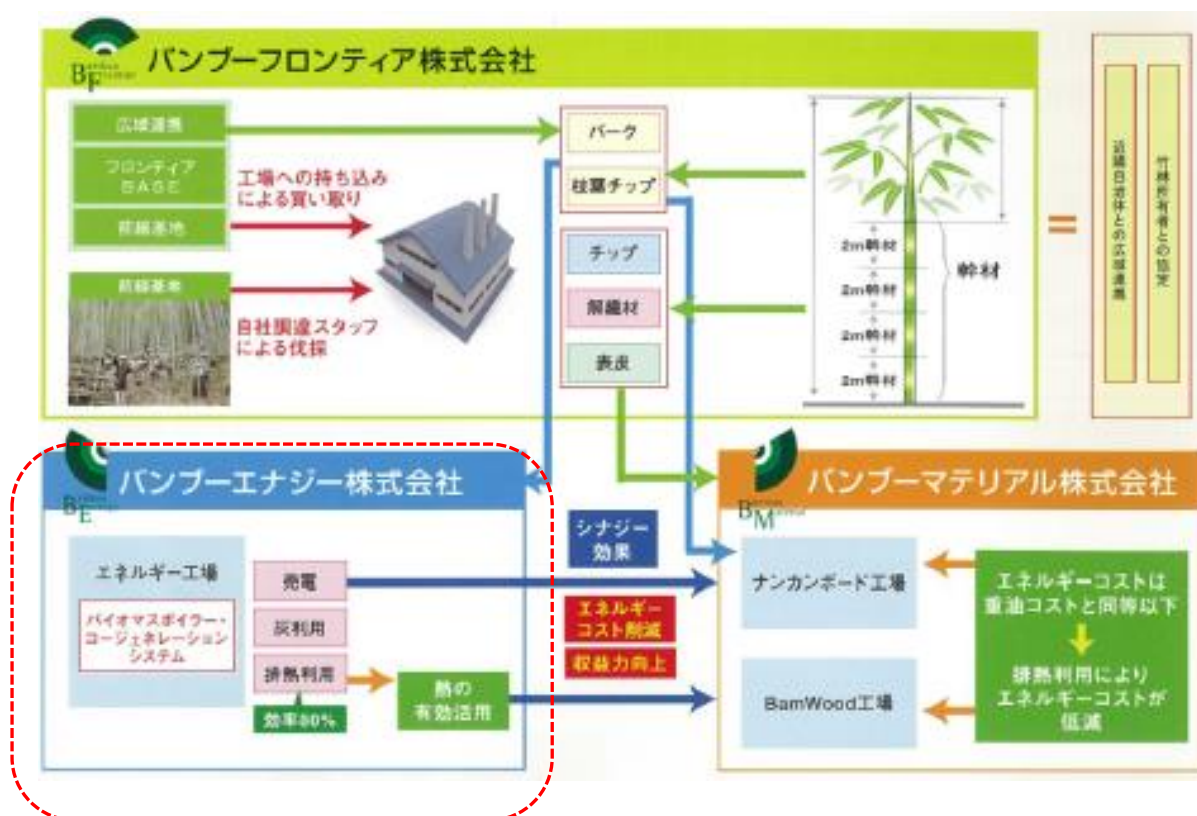
本ファンドは、バンブーエナジーの社債引受けにより、バイオマス発電システムの設備資金及び運転資金の調達を支援いたします。

今後、バンブーエナジー等バンブーグループの取り組みは、被災地である熊本県及び大分県を含めた九州地区での荒廃竹林整備推進と、竹の有効活用による建築資材の製造等のサプライチェーン構築を通じた、地域における新たな産業と雇用の創出が期待されております。本件の取組みは、被災地の経済復興と発展、九州地区の経済活性化に資するものと考えられます。

今後も、本ファンドは震災からの復興に貢献するため、被災された九州地域の事業者及び同地域の復興に資する事業者に対する投資を行ってまいります。

【投資先の概要】

企業名	バンブーエネルギー株式会社
本社・工場予定地	熊本県玉名郡南関町関町
代表取締役	丸本文紀、岡田久幸
事業内容	バイオマス発電事業



※今回の投資先

【九州広域復興支援ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/06.html>

機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>
 株式会社地域経済活性化支援機構
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
 代表: TEL 03-6266-0310
 地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590